

**SUPER 耐久シリーズ 2010 第4戦**

**in**

**富士スピードウェイ**



**東 徹次郎**

**TOHJIRO AZUMA**

今回から前回投入の新車へ！！

雨の富士、10位スタートから途中4位まで挽回！！

- ・開催サーキット：富士スピードウェイ（4.563km）
- ・チーム：TRACY SPORTS
- ・マシン：TRACY SPORTS S2000
- ・カーナンバー：#41
- ・クラス：ST-4
- ・ドライバー：A 兵頭 信一 B **東 徹次郎** C 中村 和昭



## 予選（6月26日）

◆Weather：小雨 ◆Course：セミウェット

前日の練習と打って変わって、土曜日はあいにくの雨。  
Aドライバー予選のときは完全にレインタイヤでの走行になったのですが、自分の走るBドライバー予選では雨もほとんど止んで微妙な路面状況となっていました。

スリックでいくかレインでいくか非常に迷ったのですが、S2000はFRで雨は不安定ですしライン上もほんの少ししか乾いていなかったなので、自分はレインタイヤを装着しました。  
走り始めてすぐタイムは出たのですが、その後頭打ちでライン上も乾いてきてレインタイヤの選択が失敗だと思い始めていました。

ピットに入ってタイヤを交換しようかと考えたのですが、15分の予選で無線が無い中、もし急遽ピットインして交換の準備に時間がかかったらどうしようなど考えたら、タイヤを変えて1ラップ出来るか出来ないかのリスクを考えてしまい、そのままレインで走り続けました。  
結果的にはその判断が大きな失敗でした。

最終ラップで僅かにタイムアップするも、トップ4台はスリックタイヤ勢でタイム差も大きく開けられてしまいました。  
結局レインタイヤ勢の中ではまあまあ良くS2000のレインタイヤ組みの中ではトップだったのですが、クラス順位は8位と沈んでしまいました。

総合予選順位：クラス 10 位（参加台数 13 台）

※A&Bドライバーの予選タイム合算による

**Aドライバー予選タイム：2'08.333**

**(クラス8位)**

## 決勝（6月27日）

◆Weather：雨 ◆Course ウェット

今回は初のウェットコンディションでのレースです。  
今回自分は初のスタートドライバーを担当し、ガソリンもフルタンクで2時間（60周）引っ張るという作戦でいきました。  
朝のウォームアップでは自分がマシンのセットアップも担当し、決勝に向けてのマシンバランスを決めました。

当初、決勝時は雨が弱くなってスリックもありえるのではという予想でしたが、その予想に反して雨はずっと降り続けていました。  
スタートはセーフティカーによるスタートでしたが、まずはタイヤの熱入れに集中し、とにかくストレートに出てくるときは前のマシンの背後にしっかりとつけていられるよう心がけて準備していました。

2周先導の後、長い4時間の戦いがスタートです。  
前はストレートスピードの伸びるインテグラだったのですが、最終コーナーからしっかり背後につけていても、やはりストレートで離されてしまうスタートとなります。  
そして予想通りコントロールラインを過ぎたら1コーナーまで水しぶきで前は何も見えない状況でした。

とにかく自分のマシンはガソリンがフルタンクで重い状態だったので、まずはブレーキを注意しながら止まらない車をコントロールしていきます。  
FF勢（シビック&インテグラ）がマシン特性からくる違いで特に雨では安定していて速いので、まずはその集団についていくことを目標にしていました。  
前半15周目くらいまでは付かず離れずの間隔で5位から10位スタートの自分まで、等間隔で走行していました。  
しかし、それ以降から周回遅れにしてくる速いクラスのマシンとの絡みなどから徐々に離されていってしまいます。

またタイヤも少し熱ダレしてきて、雨量の変化と共にアンダーステアが少し強くなってきてしまいます。  
それでもコーナー進入時のブレーキの踏み方を変えたりしながらフロントに荷重をかけて進入し、アクセルでリアのスライドをコントロールしながら每周試

行錯誤しながら走行していました。

2時間という長い時間を担当したので、霧が出たり雨量が変わったりと本当に様々なシチュエーションを経験し、またそれに合わせて自分も何とか速く走ろうとトライをしていたので、毎ラップがチャレンジでした。ベストラップ自体は前回優勝の95号車のS2000と変わらないのですが、自分の方が少しタイムの落ちたときの幅があったのがもったいなかったです。

ラスト30分はドリンクも無くなり暑さもピークでしたが、最後まで雨量に合わせてラインを変えたりしながらマシンと格闘しながらの走行でしたので、意外とあっという間でした。結局自分は約2時間15分(60周)走行し、10位スタートから4位までポジションを上げて、Aドライバーの兵頭さんとチェンジします。

兵頭さんが走りだしてから間もなくして濃霧の影響でセーフティーカーが入り、1時間近くセーフティーカーランとなります。うちはもう一度ピットに入らないといけなかったのですが、このまま赤旗で終わりになればピットの義務が済んでいなくてもレース成立となるので、ここはピットに入らず様子を見ていました。しかしレースも残り45分くらいになったところで霧が晴れ、再スタートとなります。

そしてその再スタートでまさかのアクシデントが。再スタート直後の1コーナーでシビックと接触し、左リアの足回りと左前が壊れてまさかのピットストップ。アームが壊れ、ブレーキローターも割れていてこれは厳しいというような感じでしたが、それでも自分は諦めたくないですし兵頭さんと交代して、すかさずマシンに乗りこんで待機していました。

メカニックさんたちの最高の仕事によって、何とかラスト15分を切ってコースに戻ることが出来ました。そしてチームみんなの執念で、リタイヤと思われたレースを完走することが出来ました。

**決勝：11位 (Total:88Laps)**

**※ベストラップ：2'11.123 (Total:62Laps 走行)**

## 反省

今回は占有走行のときからレースまで自分がメインでマシンのセットアップをさせてもらい、非常に勉強になりました。  
また、自分的には良い方向にマシンを仕上げていたので自信にもなります。

ただ今回失敗したのは予選です。  
完全にタイヤ選択を誤ってしまい予選中もピットに入ろうか迷って結局入らなかったのも、そういった状況判断ができなかったことが今回失敗でしたが、逆に言えばこの経験を必ず次に活かします。

決勝はベストラップ、そしてペースも良かったのですが、速いクラスのマシンとの絡みのときに若干タイムの落ち幅が大きかったのも、そこが次に向けての課題です。  
初めて2時間というロングでの走行でしたが、途中集中力が切れかかって細かいミスもあったので、そういう部分をより少なくしていかなければいけないと感じました。  
ただそういうミスをした際に、自分の状況を把握してすぐに自分をコントロールしてミスを最小限に出来たことは、次に繋がる良い要素だと思います。



## 最後に

今回も沢山の応援、本当に有難うございました。  
今回は地元から近い富士ということもあり、スポンサー様をはじめとする本当に沢山の皆さんがサーキットまで足を運んでくださり、自分としても改めてホームということ意識出来て非常に力を戴くことが出来ました。

今回最終的に結果は悪かったですが、自分としての内容は良いものだったと思います。  
金曜からのマシン作り、決勝でのスタート、そしてロングでの走行、まだまだ学ぶべき点も多いですが、今回全てが自分にプラスとなりました。

マシンが接触して帰ってきたとき、自分はすぐに乗り込んで待っていたのですが、終わってからメカニックさんたちが、‘これはもうリタイアかって思ったときに、見たらすでにドライバーのお前が諦めないで乗ってスタンバイしていたから、何とか最後チェッカーだけでも受けられるよう必死で頑張ったよ。’と言ってくれました。

ドライバーとしても本当に嬉しい言葉です。  
自分は前回乗れないでリタイアでしたので、時間がある限り、マシンがピットに戻ってきた限り、絶対にレースを諦めたくありませんでした。  
本当にギリギリで間に合い完走出来たのは、そういったメカニックさんをはじめとするスタッフさんたちのお陰なので、本当に感謝したいと思います。

次は9月まで空き、次は自分にとっては初となる岡山です。  
まだ次のレースは乗ることが正式に決まっていますが、自分自身も手応えが出てきて良くなってきましたし、この素晴らしいスタッフと何としても優勝したいので、これからの2カ月、何としても後半戦も戦えるよう全力でスポンサー活動も頑張ります。

どうぞ今後ともご支援ご声援のほど、宜しくお願い致します。

2010年6月28日  
東 徹次郎